

MRAPID

青森県感染症発生情報

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2005年11月 (2005年12月16日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第44週から第48週(10月31日～12月4日)までの動向

1) STDは10月に比べて患者数が増加しました。特に20代後半の女性の患者数が増加しました。また、疾病別では、尖形コンジロームが増加し、性器ヘルペス感染症及び淋菌感染症が減少しました。

2) 全数把握届出疾患は次のとおりです。

青森保健所管内	つつが虫病：1名
弘前保健所管内	つつが虫病：1名、アメーバ赤痢：1名
八戸保健所管内	後天性免疫不全症候群：1名、梅毒：1名
上十三保健所管内	つつが虫病：1名

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	6	2.00	12	4.0	12	6.00			6	3.00			36	2.77
76 性器ヘルペス	1	0.33	1	0.3	4	2.00			1	0.50			7	0.54
77 尖形コンジローム	4	1.33	3	1.0	2	1.00			1	0.50			10	0.77
78 淋菌感染症	1	0.33	1	0.3									2	0.15

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖形コンジローム		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～1										
1～4										
5～9										
10～14										
15～19		5		1		3				9
20～24	2	14	1		1	1		1	4	16
25～29	2	6	1	1	2	1			5	8
30～34	3		1		2				6	
35～39	1								1	
40～44	1								1	
45～49	1						1		2	
50～54										
55～59	1								1	
60～64										
65～69										
70～			1	1					1	1
合計	11	25	4	3	5	5	1	1	21	34

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

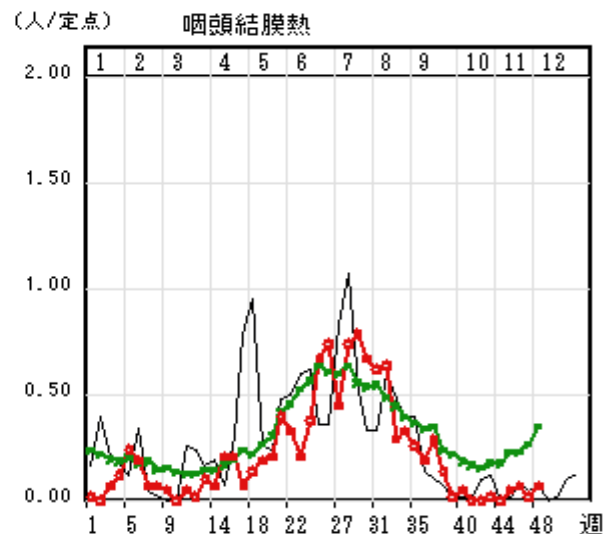
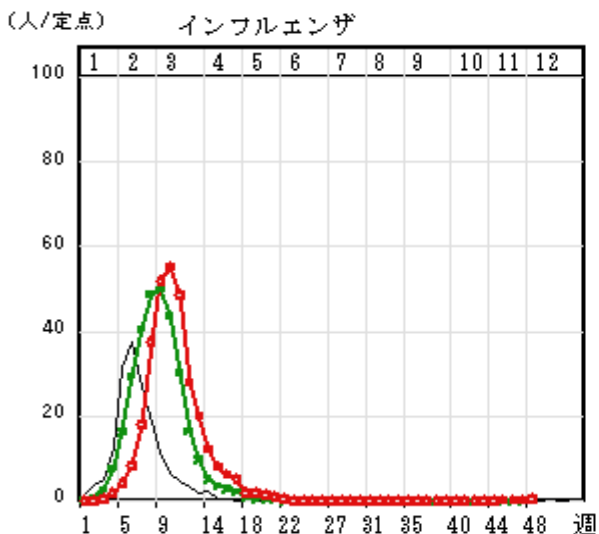
	採 取 部 位 別										青森県 合計	
	喀 痰	留置カ テーテ ル	術創部 (創部 感染)	耳漏液	気管洗 浄液	血 液	髄 液	胸 水	腹 水	膿		その他
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1									4	6
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

4. 全数把握感染症 (2005年)

1	疾患名	青森県		全国		4	疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱			4	35
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎			4	6
	5 ベスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症				
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			3	46		38 ボツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢		1	28	463	39 マラリア				44	
	11 ジフテリア					41 ライム病				5	
	12 腸チフス		1	3	39	43 レジオネラ症		1	29	182	
	13 パラチフス		3		14	45 アメーバ赤痢	1	3	31	312	
	14 腸管出血性大腸菌感染症		17	209	3,052	46 ウイルス性肝炎		1	9	104	
3類 感染症	18 エキノコックス症				7	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症				5	
	20 オウム病			1	25	49 クロイツフェルト・ヤコブ病		1	6	67	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	2	22	
	22 Q熱				4	51 後天性免疫不全症候群	1	9	48	481	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			8	36	
	25 コクシジオイデス症				2	53 髄膜炎菌性髄膜炎				4	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群					
	28 炭疽					55 梅毒	1	2	28	262	
	29 つつが虫病	3	17	79	157	56 破傷風		2	6	46	
	30 デング熱			6	47	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1	27	

5. 定点把握感染症の推移

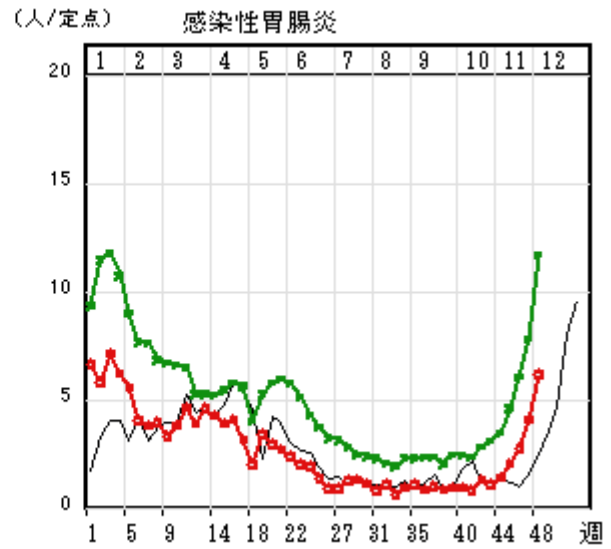
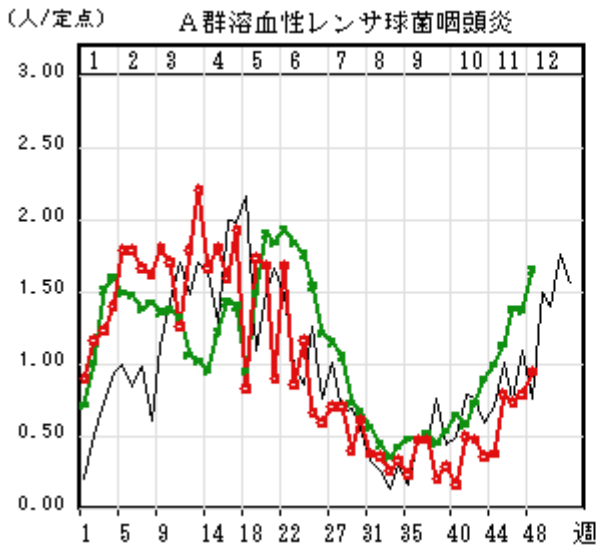
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



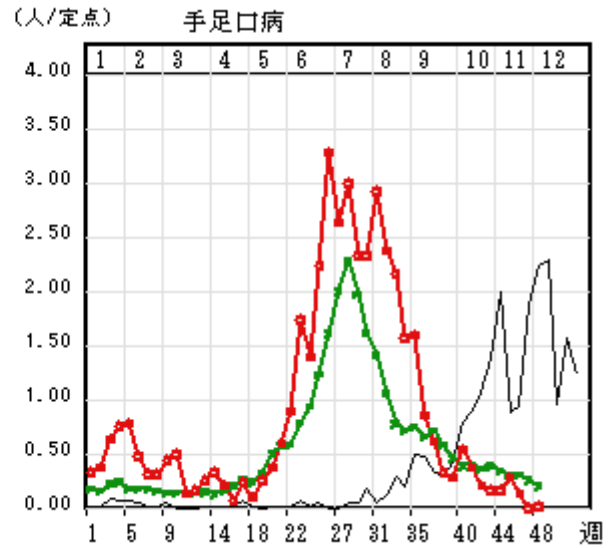
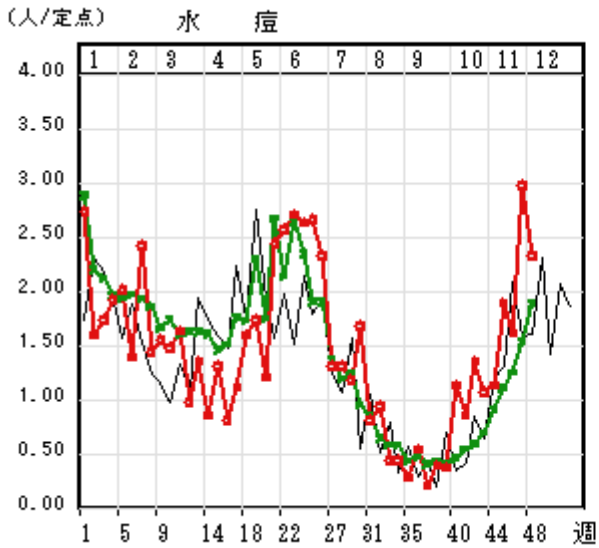
インフルエンザは、45週から発生が報告され増加傾向にあります。

咽頭結膜熱は、低く推移しています。

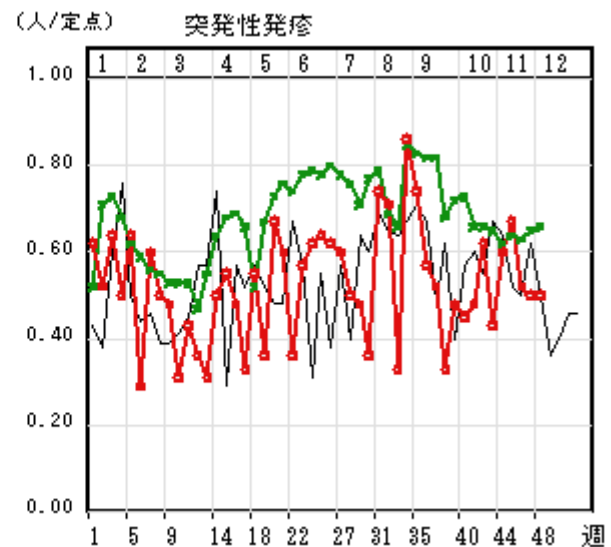
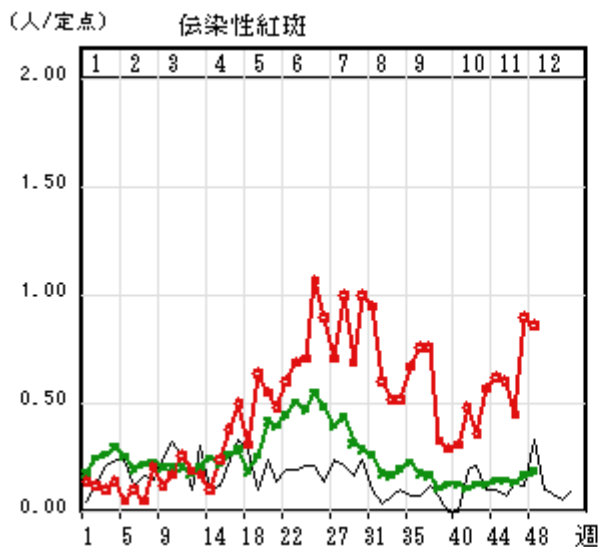
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎は、増加傾向にあります。

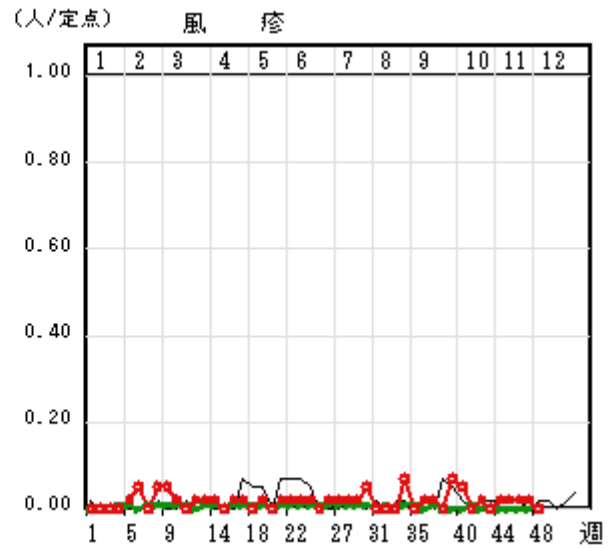
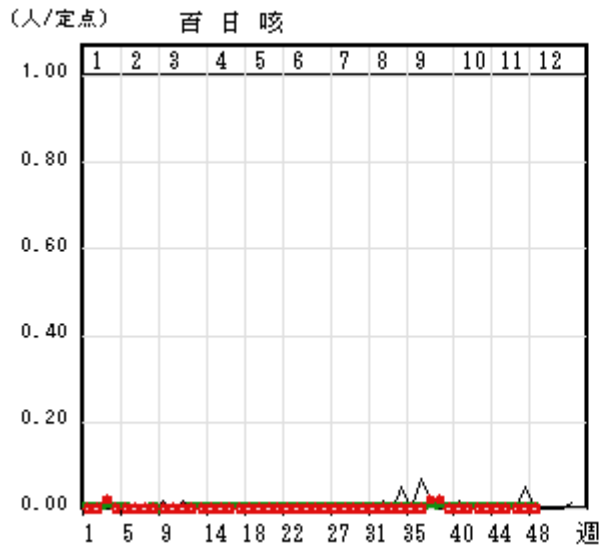


水痘は、増加傾向にありましたが、47週をピークに減少傾向にあります。手足口病は、低く推移しています。

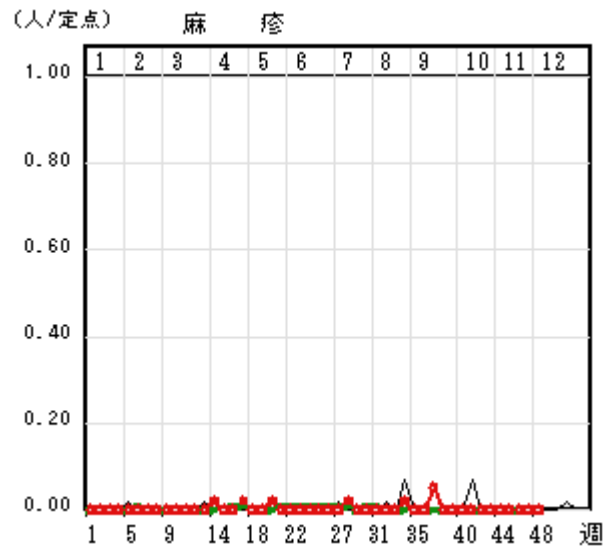
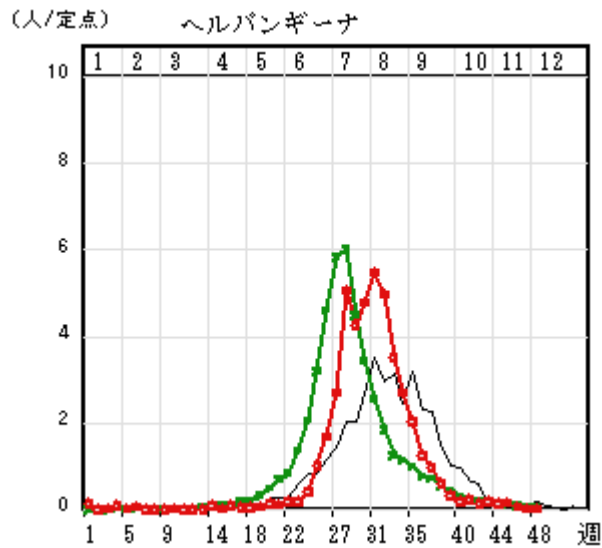


伝染性紅斑は、増加傾向にあります。突発性発疹は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

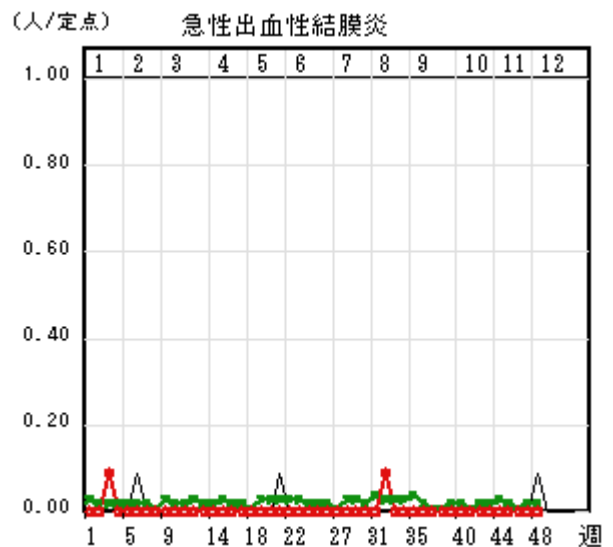
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、当月中の発生報告はありませんでした。風疹は、低い値で推移しています。



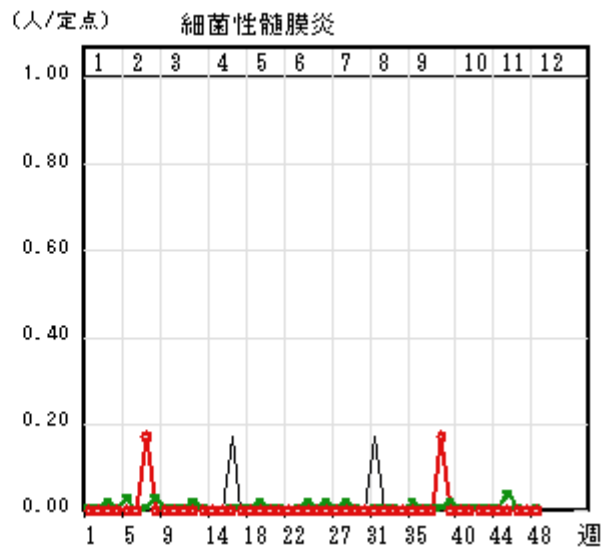
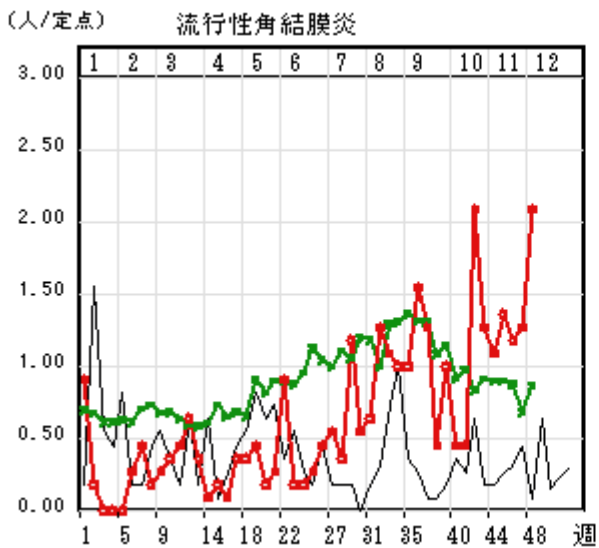
ヘルパンギーナは、低い値で推移しています。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。



流行性耳下腺炎は、減少したものの昨年同期より高く推移する傾向にあります。

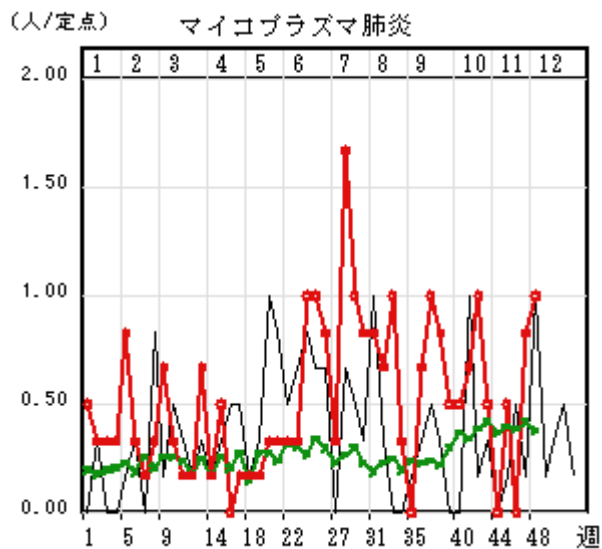
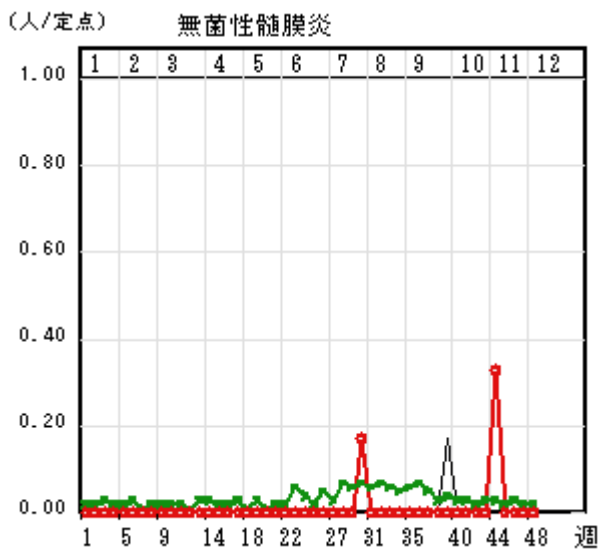
急性出血性結膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



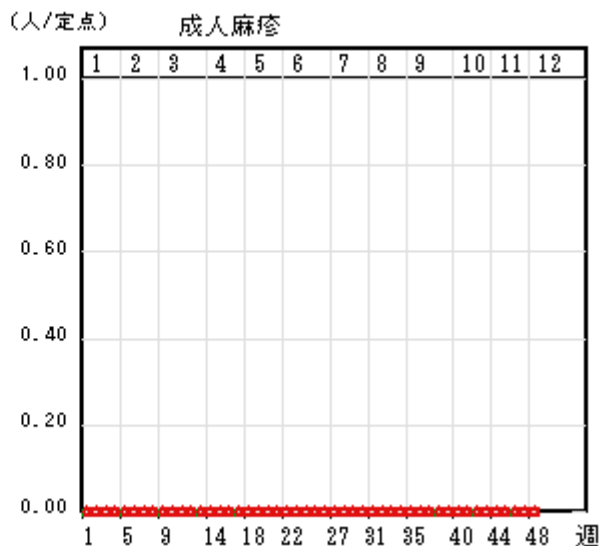
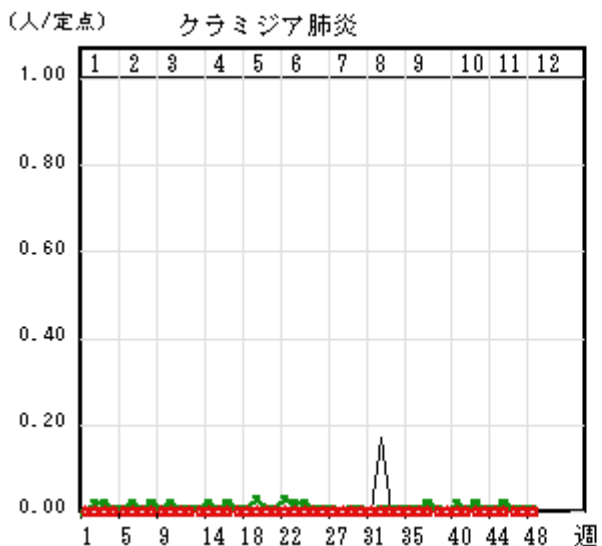
流行性結膜炎は、一時減少しましたが再び増加傾向に転じました。

細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



無菌性髄膜炎は、44週に2件の発生報告がありました。

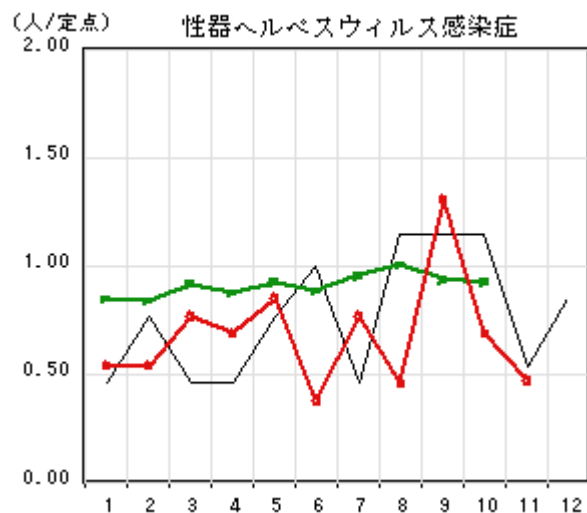
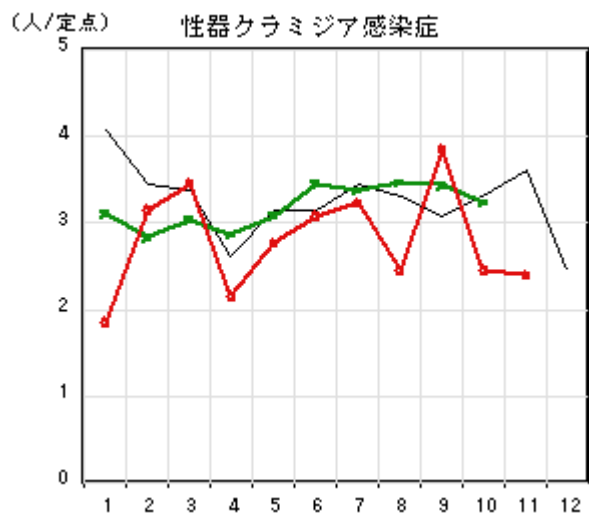
マイコプラズマ肺炎は、全国値よりも高く推移しています。



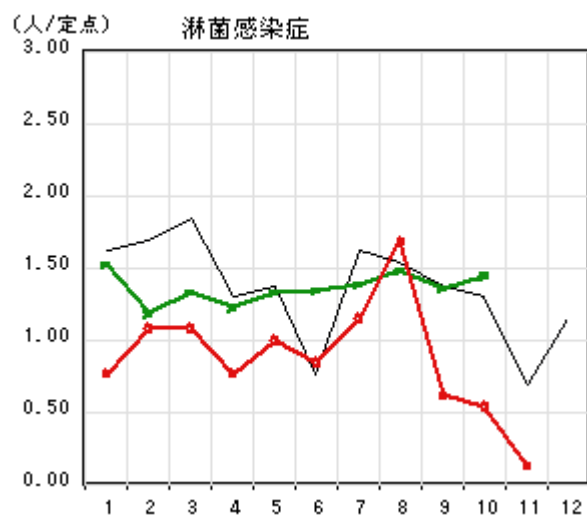
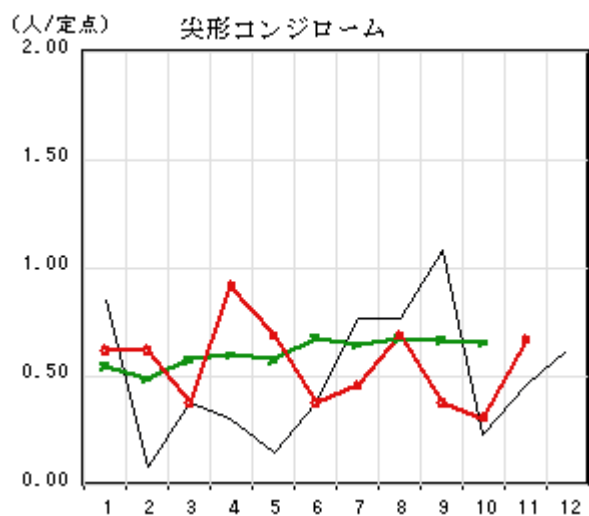
クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

6.STD 感染症の月別推移

○—○：当年（青森県） ———：前年（青森県） ×—×：当年（全国）



性器クラミジア感染症は、横ばい状態です。性器ヘルペスウイルス感染症は、減少傾向にあります。



尖形コンジローマは、増加傾向に転じました。淋菌感染症は、減少傾向にあります。